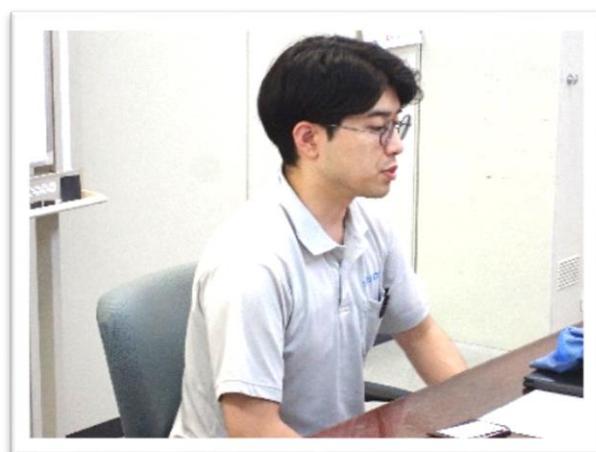


働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

株式会社ハッピージャパン

山形市にある株式会社ハッピージャパンの若手社員、大河原大聖さん取材しました！大河原さんは、山形県高畠町出身で、2022年に入社しました。現在は、FA事業部ハンドラーグループで勤務しています。また、総務企画部総務課の茂木智史さん、菅井冴織さんにも同席していただきました。

(1) 仕事内容編



——現在、どのようなお仕事をしていますか。

FA事業部のハンドラーグループで電気設計を担当しています。ハンドラーとは、半導体、ICチップと呼ばれている車やスマートフォン等にも使用されている電子部品を、検査工程で良品と不良品に振り分ける装置のことです。

機器一つひとつの配線や配置を決めるハード設計と、ハード設計を基に組み立てた装置をPLC(プログラミングによって機械をコントロールできる小型コンピュータ)やPCで制御するためのソフトを設計するという、二つの面での設計を担当しています。

FA事業部はハンドラーグループとカスタムグループの二つに分かれています。その電気設計を担当しているメンバー全員で毎週火曜日に進捗会議をしています。この会議の中では、人員配置の調整を行うこともありますね。今は特に、ハンドラーグループからカスタムグループに応援を出しています。

私も直近ではカスタムグループ案件の仕事をしていて、カスタムグループではハンドラー

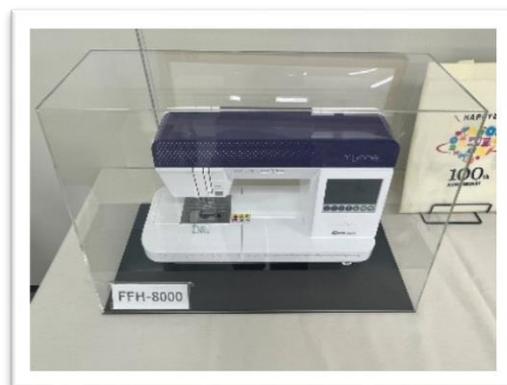
働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

株式会社ハッピージャパン

とは違い、お客様からの要望に基づいた、オリジナル装置を設計することになります。私はその中でハード設計とソフト設計を担当しています。

——大学の専攻と仕事内容とはどのような関係がありますか。

私は山形大学工学部電気電子工学科を卒業しましたが、現在の業務とは直接的には関わっていません。当時大学で学んだ知識が役立つ場面はもちろんあるのですが、入社後に学んだ内容の方が、やはり役に立つことが多いですね。



——入社後の研修はどのように行いましたか？

入社して半年間が研修期間です。この会社がどのように動いているかを学ぶ期間ですね。会社の様々な部署、設計から加工や組み立ての現場、生産技術や品質保証、生産管理……こういった部署を回ります。

配属後、今の実務に関わる内容の研修は、実務をこなしながら一個一個覚えていくという形です。今も仕事を覚えている最中です。

——仕事の大変なこと、やりがいや楽しみはありますか？

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業
株式会社ハッピージャパン



自分が作った装置が出来上がって動いている、というのは見ていてやりがいを感じますね。楽しいと思うのもやはりそういう瞬間ですね。作業自体はどうしても苦しい時もあるのですが、出来上がったものをみると達成感があります。

(2) 職場編



——株式会社ハッピージャパンを知ったきっかけは何ですか。

私は県内出身なのですが、最初はこの会社を知らなかったんです。就活をしていた頃はコロナ禍で、オンラインでの合同説明会があったのですが、その際にちょっと面白そうな企業があるなということで話を聞いてみて、興味を持ったのがきっかけになります。

——就職活動はどのような基準で行っていたのでしょうか。

自分が山形大好きで、山形から出たくないな、出ても宮城、福島くらいだな、ということで、まず地元の企業から探していました。

何か譲れない条件を就活当時に考えていたかは覚えていないんですけど、メーカーで設計をしてみたいなという思いがあって、メーカーから探していました。県内にもいろんなメーカーがあって、その説明会を覗いていました。面接まで行ったところもありましたね。その中で株式会社ハッピージャパンに入社しました。

——入社して良かったことは何でしょうか。



良かったと感じることは、今仕事が好きと思えることです。もちろん苦しい瞬間はあるんですが……。

元々高校の頃から物理は結構好きで、とりわけ電気が好きだったんですけど、大学に入ったら「いやもう電気って何でこんなに難しいんだ！」と思って、もう本当に本当に電気やりたくなくて（笑）。大学入ってから電気嫌いになっちゃったんです。

まず大学というのは、教育機関であると同時に研究機関でもありますので、授業の中でも研究するために必要な知識を求められることがあります。当時は理論的な計算がとても苦しかったのですが、入社後に製造で仕事をしていくにあたっては、そうした計算は必要ない場合もあるんですね。なので、楽しいところだけを勉強できる、と言ったら聞こえが良いのかもしれませんが、自分が楽しいと思うことをこの会社ではできているのが、入社して良かったと感じるところですね。

それから、この会社は人がいいと思います。電気系に限ったことでもないのですが、設計分野をはじめとして、製造業では職人気質な方がやはり多いです。でもなんだかんだ言って皆さんとても優しいんですよ。質問すれば教えてくれるし、いつも気にかけてくれていることが感じられる。そういうところも入社して良かったところですね。

——入社後に成長したことは何でしょうか。

学生さんを対象にしたインターンでワークを担当しているのですが、初めは教えるのがなかなか難しかったですね。自分が理解したつもりのことでも、人に教えるのはとても難しくって。ただ、教える中で自分でも理解が深まってきたと感じていて、仕事にも活かせています。

仕事をしていく中で、日々成長を感じてはいるのですが、電気と一口に言っても、かなり多種多様なことを覚えたり経験したりしないといけないんです。こうしたものを1個覚えると分からないことが2個増えて、2個覚えたら何か10個くらい分からなくなって、分かれば分かるほど、分からないことも増えていく。こうした毎日を過ごしながら成長した、というか日々成長中です（笑）。

——インターンはどういった形で実施されていますか。

（菅井さん）

インターンに関しては、設計に関するインターンとして募集しています。将来的に設計をやりたい方が、実際に設計ってどういうことをしているのかなっていうところを体験していただく内容です。プログラムが1 day と3 days と5 days がありまして、今人気なのが5 days で、テーマは「想像が形になる設計職のインターン」です。設計の仕事の醍醐味、やりがいと言うのは、自分の頭で想像したものを形にすることなので、頭で想像して、こういう機械を作りたいなって思ったのが、形になるっていうところを疑似体験する。機械まで作ることは5日間ではできないので、とあるものを作ってもらって、自分のイメージ通りになったかなとか、設計者ってどういう考え方をしてるのかなというところを5日間で体験する内容になっています。インターンは機械設計と電気設計を選ぶことができるようになっていますので、興味のある方を選び、体験していただければと思います。

——文系の採用はあるのでしょうか。

（菅井さん）

コンスタントに毎年採用していません。ただ2023年に1名、文系で採用した方がいて、今は営業職として東京で勤務しています。新卒のメインは理工系で、技術職をメインに求人活動をしています。文系の職種は今の所、中途採用が多くなっています。

——福利厚生に関して何か特徴的な制度はありますか。

同期の話を知ると、会社の労働組合を通して映画のチケットを安く買っていますね。今ほとんど映画館の値段が上がっていませんか？ 先日驚いたのですが、映画を見に行ったらチケットが1900円で、「失敗した、会社で買ってから行けばよかった」と思いました（笑）。

それと、私は住宅手当をいただいています。実家は高島町にあって、通うには遠い場所なので、アパートを借りて暮らしています。

——会社の雰囲気や上司、同僚の方との関係はどうでしょうか。

他の会社で働いたことがないので客観的には見られないのですが、会社の雰囲気はいいと思います。入社したての頃は、職人気質な先輩には「おはようございます！」と言っても「…ウス」みたいな。「…ウス」なんです基本的にみんな。でも慣れると、その「…ウス」が心地いいというか、コミュニケーションを取れている感じがして。無視する方はいないですね。みんなちゃんと挨拶、なんなら「…ウス」が先にきて「おはようございます！」のときもありますし。

最近の話を知ると、あんまり挨拶したくない若者が多いとか、挨拶という文化が薄れてきている感じがしますが、ここでは「…ウス」ではあるんですけど、仕事をしていく上ではとても質問しやすいですね。皆さんも色々なことを教えてくれます。地方中小企業ということもあって、どうしても若者がそう多くはないのですが、だからなのか、皆さんがかわいがってくれます。全然関係ない部署の方とかでも「お～元気してたか！」って、たまに声をかけてくれるんです。そういうところでも「よかったな～この会社入って」と思います。すごく若者を大事にしてくれているなと感じています。

——社内でのイベント・懇親会等がありますか？

労働組合が主催するイベントがあります。社員同士交流しましょう、ということで、お盆の前にビアパーティーをしました。後はボーリング大会や、秋の芋煮会が定例のイベントになっていますね。こういう時に会長や社長とも交流できるんです。ビアパーティーの時は、会長はビールのピッチャーを持ってほぼ全てのテーブルを回っていたように思います。社長もとてもフレンドリーな方で、この間は名前を褒められました。「いい名前だな～」、「親父さんによろしく言っといてくれ！」って言われましたね（笑）。

こうしたイベントを通して、様々な垣根を越えた、いい雰囲気があるなと感じます。参加はもちろん強制ではないので、来ない方もいます。でも私は先日参加して、とても楽しかったです。やっぱり色々な人と話せる機会なので、私はこうした機会は好きですね。



(3) ある日の過ごし方編

●8:15 【出社・業務開始】

制服に着替え、みんなでラジオ体操をします。
ラジオ体操が終わったら、事業部全体の朝礼をします。

●8:25 【毎週行われる電気設計のメンバーでの進捗会議】

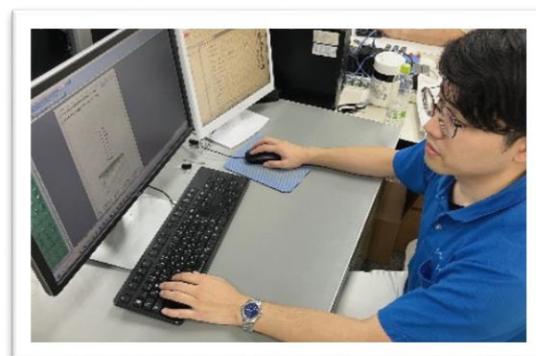
毎週火曜日に、電気設計のメンバー全員で1~2時間程度の進捗打合せを行います。この打合せの中で、「誰がどの案件をいつまで終わらせるのか」「誰がフォローに回れるか」といったことを話し合います。



●10:00 【10分休憩】

●10:10 【設計】

進捗会議での話し合いを基に、自分の手持ちの仕事を進めていきます。
この日は電気回路図や部品表の作成を行いました。



●12:00 【お昼休憩】

社員食堂で、同期や後輩と一緒に昼食をとります。
弁当を持ってくる方もいますが、会社で弁当を注文することもできます。

●12:45 【現場問い合わせ対応】

電気回路図や部品表等が完成し、必要な部品が揃い次第現場で装置を組み立てていくことに

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

株式会社ハッピージャパン

なりますが、その際回路図に不明な点があると、現場から問い合わせがあります。
必要に応じて回路図の修正を行い、最終的にお客様に提出するまでには完璧なものに仕上げます。

●15：00 【10分休憩】

●15：10 【グループ活動】

現在、全社を挙げて業務の改善活動に取り組んでいます。
所属事業部毎にいくつかのグループに分かれての活動になりますが、私が所属するグループでは、今まで作成してきたたくさんの装置の機械図面と電気回路図を見やすく管理することで、新人でもその案件に関わっていなくても、いつでも簡単に探せるようにする。といった活動を進めています。

●17：20 【退勤】

退勤後は家で晩御飯を作り、洗濯物や洗い物を済ませたら趣味のゲームをするか、YouTubeやテレビを見て過ごします。



(4) むらやまでの暮らし編

——山形に残るという選択をされた背景には、ご友人も関係しますか。

いや、大学の友達はまだみんな県外に行っちゃいましたね。高校の友達も、通っていた高校が進学校で、みんな大学に行ったんですね。それで関東の大学に行くとやっぱり戻って来なくなって、高校の友達もほぼ関東にいます。中学の友達は仙台に多いです。なので、本当に地元に残っている友達は、もう数えるぐらいです。そういう意味では、なんか寂しいですね……「みんなこっち来い、みんなこっち来い」って言うんですけど……

元々都会が苦手な自然が大好きということもありますが「生まれ育ったふるさとに残りたい」という思いが人より強かったかなとは思っています。関東に行った友達が30歳前後くらいになって帰ってくるのを、ここで待っています（笑）

——山形のおすすめのお店や、行った方がよい場所はどこでしょうか。

蕎麦とラーメンとパスタくらいしか外食しないんですが……山形市内では「ケンチャンラーメン」（写真1枚目）ですね。蕎麦屋さんだと「そば琳」（写真2枚目）、パスタ屋さんなら桧町にある「Kata's Kitchen TRAVELIN'」（写真3枚目）はとても好きです。米沢にもいっぱい好きなお店があるんですが、飲食店ならラーメン屋の「めんこう」、「貴伝」ですね。それから「弥平」という蕎麦屋さんが好きです。

観光なら……私は温泉が大好きで、蔵王温泉の日帰り温泉は半分以上行きました。小野川温泉はたぶん8割くらい行っていると思います。基本的に山形県内の温泉は安いですからね、あんないい泉質で信じられません。みなさん是非足を運んでみてください。



——温泉には、休日や退勤後に行くのですか。

基本的には休日です。日帰りの温泉は、宿のチェックイン前の時間しか入れないので、午後3時くらいまでなんです。温泉宿ではなく、温泉だけのところならば午後7～9時まで入れるところもあるのですが……その中だと「百目鬼温泉」は確か午後9時くらいまでやっているの、退勤後にたまに行っていましたね。

——休日はほかにどのように過ごされていますか。

ゲームか、食事に行くか、買い物に行くかですね。実家が車で1時間くらいなので、よく実家にも帰ります。土日ずっとゲームをするとすごく後悔するんですよ。「何してんだろうな」と思うので、ずっとはしないようにしていますね。金曜日の夜にやって、土曜の夜にちょっとやってぐらいで日中は活動するようにしています。できる限り。でも友達に誘われるとやっちゃうんですけど（笑）。

最近はFPSのゲーム「VALORANT」をやっています。銃でバンバンとする系のゲームをよくやりますね。前まではポケモンが好きだったんですが、最近は一人でやるゲームができなくなってしまって、誰かと喋りながらやるゲームを友達とやっています。



(5) まとめ編



——仕事をしていく中で、今後の目標はありますか。

先程（記事（2））、「1個分かることが増えたら2個分からなくなって、2個分かることが増えたら5個10個分からないことが増えていく」という話をしたんですけど、それがだんだんと減っていく、分からないことが埋まっていくといいですね。もちろん全てを理解することは難しいのですが、一度その作業をしたら、その作業だけではなく何か別のことも分かりそうだ、というような引き出しを持てるようにしていきたいですね。

——最後に、これから就活する学生へ向けて、アドバイスをお願いします。

最近では就活の早期化でどんどんスピードが速くなっているのですが、そんなに焦らなくてもいいのかなと思います。もちろん大手企業に行きたかったらスピードが大事なかもしれませんが……。一社目でこれからの人生が決まるわけではないので、就活で人生がすべて決まる、終わるということはないと思います。今はキャリア採用のように、転職者を歓迎している企業も多いですからね。気楽に「自分はこの会社とマッチするのかな」くらいで全然いいと思います。気楽にやってほしいですね。



———ありがとうございました！

大河原さんはとても気さくな方で、温泉トークもしていただき、楽しい雰囲気の中でインタビューをすることができました。その中で、仕事のやりがいや楽しさはもちろん、山形への愛がひしひしと伝わってきました。私自身、これから配属地が決まる4年生なのですが「村山地域で仕事するのもいいじゃん！」という気持ちになりました。そういった意味で、今回のインタビューは私自身にもとても有意義でした。

【インタビュアー：山形大学人文社会科学部 今井秀和、工学部 渡辺千晶 村椿彩華】

株式会社ハッピージャパン

【 ①機械丸ごと完成品まで作るのが当社の魅力です！ ②新卒者の定着率が高い会社です！ 】

①一貫生産体制を取っており、図面を書き起こす所からお客様の元に据付するまで一貫して行っていることが当社の特徴です。それだけ社内に様々な部署があるということですので、コミュニケーション良く仕事を行うようにしています。

②当社は毎年新卒採用を行っていますが、定着率が良いことが強み。入社3年以内の離職率が全国で30%を超える中、当社は7%に抑えられています。1年に3回以上行っている面談、入社から奇数年経過した際に行う面談で、悩みを早期に解決出来る体制を整えています。

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

株式会社ハッピージャパン

★ユースエール認定、健康経営優良法人 2024、地域未来牽引企業、やまがたスマイル企業

GOLD



- ・ 所在地 山形県山形市立谷川三丁目 3515 番地
 - ・ 設立 大正 12 年 11 月
 - ・ 従業員数 263 名（男性 204 名、女性 59 名）
 - ・ 事業内容 家庭用ミシン、工業用刺しゅう機、IC ハンドラー、FA 装置、食品機器等の設計開発、製造、販売、修理
 - ・ URL <https://www.happyjpn.com/>
-